

# 第63回（令和5年度）北海道図書館大会開催要項

## 1 趣 旨

北海道内の図書館関係者等が一堂に会し、当面する今日的課題について研究協議を行い、共通理解を深め、高度化・多様化する利用者及び住民の要望や社会の要請に応える図書館活動の充実と発展に寄与することを目的とし、図書館大会を開催します。

## 2 テーマ「これからの図書館を考える～あらゆる情報を、すべての人に～」

近年導入が拡大している電子図書館や、図書館等公衆送信サービスの開始等により、来館せずに図書館が所蔵する資料を入手することができる環境が整いつつあります。そのような中で、図書館に寄せられる期待はさらに大きくなり、提供するサービスも多様化しています。各図書館が継承してきた特色やスキルを生かし、館種を超えた連携を進めることで実現できる、地域社会を将来にわたって支えていく図書館のあり方を考えます。

## 3 主 催

北海道図書館連絡会議

北海道図書館振興協議会、北海道地区大学図書館協議会、私立短期大学図書館協議会北海道地区協議会、北海道学校図書館協会、専門図書館協議会（北海道地区連絡会）

北海道立図書館

## 4 後 援（予定） 北海道、北海道教育委員会、公益社団法人日本図書館協会

## 5 協 賛（未定）

## 6 期 間 令和5年（2023年）9月7日（木）～8日（金）

基調講演及びトピックは、後日アーカイブ動画を配信予定です（時期未定）。

## 7 会 場 北海道立道民活動センター かでる 2・7

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

（9/7 受付：かでるアスピックホール入口、9/8 受付：展示ホール前）

## 8 対象者

公共図書館・公民館・大学図書館・短期大学図書館・学校図書館・専門図書館・市町村教育委員会等関係機関の職員、図書館協議会委員、図書館に興味のある方等

## 9 日 程

### 第1日 9月7日（木）

12:15	13:00	13:30	15:00	15:20	16:00	16:20
受付	開会式	基調講演	休憩	トピック	連絡	

### 第2日 9月8日（金）

9:30	10:00	11:30	13:00	14:30	15:30
受付	分科会 A	(休憩)	分科会 B		
		情報展示			

### ■大会事務局（お問合せ先）

北海道図書館連絡会議事務局（北海道図書館振興協議会事務局）

〒069-0834 江別市文京台東町41番地 北海道立図書館 総務企画部 企画支援課内

TEL 011-386-8521 FAX 011-386-6906

E-mail shienka@library.pref.hokkaido.jp

## 10 内 容

第1日 9月7日(木)

### ◆ 基調講演(13:30~15:00)【会場:1階 かでるアスビックホール】

演題 「北海道のアイデンティティを確認するための地域アーカイブという考え方」

講師 東京大学名誉教授 根本 彰 氏

アーカイブとは過去を再現するための手がかりのことである。近年北海道ではウポポイ（民族共生象徴空間）の開設を通じて、多民族共生という見方が強調されるようになった。他方、昨年より国立国会図書館はナショナルなデジタルコレクションを国内でどこでも閲覧できるサービスを開始している。こうした新しい状況において、北海道の図書館は何ができるのだろうか。北海道は内地と比べても、図書館がもつ可能性を十分に展開させてきたと考える。それは、土地に縛られた人間関係を基にしたものとは別の、開拓者ないし開発者の思想があったからではないかと考える。このあたりについて、今取り組んでいる「マージナルな歴史的記憶を負荷された地域アーカイブ研究」(22K12717) の考え方を基にしてお話ししてみたい。

〔プロフィール〕

根本 彰 氏 (ねもと・あきら)

東京大学大学院教育学研究科、慶應義塾大学文学部で図書館情報学、教育学の研究教育に当たってきた。退職後はより広い視野から図書館の問題を考えてみたいと考え、今は学校図書館政策と地域アーカイブを主たる研究領域としている。

関連する著書に、『教育改革のための学校図書館』(東京大学出版会, 2019)、『アーカイブの思想』(みすず書房, 2021)があり、雑誌『日本の科学者』2023年5月号特集「民主主義としての地域アーカイブズ」で巻頭論文「地域アーカイブの実践を福島に見るー集合的記憶をさぐるための方法論的検討」を執筆した。ブログ (<https://oda-senin.blogspot.com/>) で情報発信している。



### ◆ トピック(15:20~16:00)【会場:1階 かでるアスビックホール】

#### ○ 「動画時代の読書と、ローカルにおける書店の実情」

美容室から紙の雑誌が減りタブレットが置かれている現在において、情報を伝えるもっとも身近なメディアは本ではなく動画やSNSです。本屋や図書館へ行ったことがない子どもは珍しくありませんが、ほとんどの小学生は短尺動画に親しんでいます。

大人にとっても、新聞を読むよりインターネットで情報を得るといふ人は多数派なのではないでしょうか。そんな時代に、いかに本や読書の敷居を下げ、従来と違うかたちで本を届けるかを考えます。

また、北海道では書店がない自治体が増え続けています。日高東部3町(浦河・様似・えりも)で唯一の新刊書店である当店として、書店業の実情もお話しさせていただきます。

情報提供：六畳書房3代目店主・動画配信者

武藤 あかり 氏

第2日 9月8日(金)

◆ 分科会A(10:00~11:30)【会場は当日ご案内します。】

○ 第1分科会「利用者の多様性に配慮したプレゼンテーション(伝え方)について」

図書館運営における司書さんから、利用者に利用案内説明や利用指導等を行う際に「説明がうまく伝わっていない?」と感じることがあると聞きます。聴覚や視覚の障がいの有無といった観点以前に、人は「個々人の経験から認識の仕方が異なる」と考える必要があります。情報の伝達・わかりやすさの観点を、デザイン学の観点から考えてみます。

講師：札幌市立大学デザイン学部教授 柿山浩一郎氏

○ 第2分科会「公共図書館と大学が連携した『認知症にやさしい図書館』事業について」

超高齢化社会を迎え、認知症者との共生社会の構築が重要となっており、広島市は、高齢者が安心して暮らせる社会の形成と地域に暮らす人々が共に支えあう「地域共生社会」の実現を目指しています。その中で広島市立中央図書館では2018年から医療系大学と連携して、認知症理解の推進及び当事者支援の情報発信を進める「認知症にやさしい図書館」事業を実施しています。連携に至った経緯と学生の参加、展示や認知症ブックカフェ等の取組について紹介します。また、事業の工夫、課題と今後の展開もお話します。

講師：広島県広島市立中央図書館事業課司書 古田菜穂子氏

○ 第3分科会「博物館の情報資源と博物館図書室の活動」

博物館には多種多様な収蔵資料や図書、調査研究や展示などの事業を通じて得られた情報が蓄積されています。これら博物館ならではの情報資源を学習支援に活用できるよう整理し提供することは、博物館図書室の大切な役割の一つです。本分科会では、博物館が持つ情報資源の特性、活用に向けた課題と試みをお話します。

講師：北海道博物館博物館基盤グループ主査 櫻井万里子氏

◆ 分科会B(13:00~14:30)【会場は当日ご案内します。】

○ 第4分科会「館種を超えた図書館サービスの連携・協力」

発表者は公立・大学・専門の各図書館を対象に質問紙と聞き取りにより、図書館サービスの連携・協力の状況を調査しました。具体的には、公立・大学の各図書館と専門図書館、専門図書館と他館種(公立・大学の各図書館)との図書館サービスにおける連携・協力の実施状況です。分科会では、その結果をもとに連携・協力の①実施内容、②メリット、③課題、④今後実施したい内容を紹介します。その上で、連携・協力のあり方を、特に地域や主題を単位に組織された図書館協会やネットワークに焦点をあて検討したことがらを述べます。さらに、館種を超えた連携・協力のあり方を検討する際の助として、今回の調査で対象とした専門図書館の特徴を整理して提示します。

講師：明治大学文学部教授 青柳英治氏

○ 第5分科会「子どもたちの心と学びを豊かに～公共図書館と学校図書館との連携をいかに進めるか～」

公共図書館と学校現場の双方からの報告・発表、その後、交流を行い、これまでの成果を交流し今後の課題を探る。

事例発表：恵庭市立和光小学校司書教諭 井上陽子氏  
恵庭市教育委員会読書推進課主査 本間洋一氏  
美瑛町図書館図書館司書 川嶋祐司氏  
帯広市立帯広第一中学校司書教諭 稲見亜希氏

◆ 情報展示(11:30~15:30 自由見学)【会場:展示ホール】

協賛企業や図書館関係団体によるブース展示やパンフレット配布等を予定しています。



## 11 参加方法

### (1) 参加申込み

申込期間 令和5年(2023年)7月13日(木)～8月21日(月)

申込方法 インターネット(スマートフォンも可)でお申し込みください。

※ 電話・FAXでは受付できません。

下記アドレス又は右上の二次元バーコードから、大会サイトにアクセスしてください。

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/doc/taikai2023>

リンク及び二次元バーコードは道立図書館ホームページにも掲載しています。

<https://www.library.pref.hokkaido.jp>

受付確認 受付完了返信メールを御確認ください。

※お申込みから1週間たっても返信がない場合は、大会事務局に御連絡ください。

### (2) 参加費

参加費(資料代) 1,000円 ・参加者1名につき、1,000円の参加費をいただきます。

・請求書、領収書が必要な方は大会事務局にお問い合わせください。

支払期限 令和5年(2023年)8月21日(月)

支払方法 銀行振込(振込手数料はお申込者様御負担でお願いします)

【振込先】銀行名：北海道銀行 大麻支店

口座番号：(普通)0980318

ホクトシン(タイカイ)  
口座名：北函振(大会)

### (3) 変更・キャンセル

変更・キャンセルは大会事務局に直接御連絡ください。なお、お申込みをキャンセルされた場合でも、参加費の返金はいたしかねますので予め御了承ください(後日、大会資料を送付します。)

## 12 会場への御案内

北海道立道民活動センター かでの2・7

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目

TEL 011-204-5100

会場にお越しの際は、公共交通機関を御利用ください。

〔公共交通機関でお越しの場合〕

〈JR〉「札幌駅」南口：徒歩13分

〈地下鉄〉「さっぽろ駅」(10番出口)：徒歩9分

「大通駅」(2番出口)：徒歩11分

「西11丁目駅」(4番出口)：徒歩11分

〈JRバス・中央バス〉

「北1条西7丁目(停留所)」：徒歩4分

〈その他〉

公共地下歩道1番出口：徒歩4分

(地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口をお通りください。)



## 13 大会事務局(お問合せ先)

北海道図書館連絡会議事務局(北海道図書館振興協議会事務局)

〒069-0834 江別市文京台東町41番地 北海道立図書館総務企画部企画支援課内

TEL 011-386-8521 / FAX 011-386-6906 / E-mail shienka@library.pref.hokkaido.jp